

つながる医療

乳腺外科 診療部長

むしか よしのり
武鹿 良規 医師

1994年 愛知医科大学卒業

●所属学会・資格／日本外科学会専門医・認定医、検診マンモグラフィ読影認定医

日本外科学会、日本臨床外科学会、日本乳癌学会、日本消化器外科学会、日本ヘルニア学会

●主な専門領域／乳腺外科



乳腺外科

女性のがん罹患数がもっとも多い乳がん。
初診時から検査、診断、治療まで
チームで関わり、
より良い治療と根治を目指します。

大雄会の乳腺外科では、患者さまの不安を和らげるため、触診、マンモグラフィ、超音波検査の結果説明を当日行い、また、医師ともに認定看護師が初診から検査、手術、放射線治療、化学療法等まで一連に関わるなど、より良い治療を行えるよう取り組んでいます。

その概要について、乳腺外科診療部長の武鹿良規医師に伺いました。

乳腺外科、化学療法室スタッフ



医師紹介

(写真左から3人目)

乳腺外科 非常勤医師
(岐阜大学腫瘍外科 助教)

森 龍太郎 医師

日本外科学会専門医、日本乳癌学会認定乳腺専門医、検診マンモグラフィ読影認定医、医学博士

日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本乳癌学会、日本癌治療学会、日本癌学会、日本外科系連合学会

早期発見で根治を目指す 乳がん

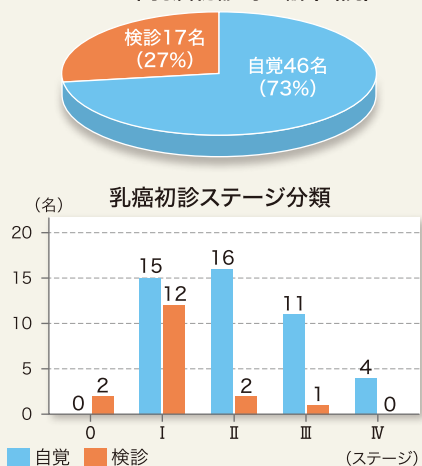
現在女性のがん罹患数のなかで最も多い罹患部位は乳房となっています。しかし、女性のがん死亡数の第1位は大腸であり、乳房は第5位です。乳がんの臨床病期分類別の5年生存率を見てみると、ステージIとIIでは90%以上、ステージIIIでは70~80%、ステージIVでは40~50%とされています。

乳がんの罹患数は近年増加傾向ではありますが、早期発見によって根治する可能性の高い疾患です。定期的な検診を行っていれば、ステージもしくはIIの段階で発見できる可能性が高く根治を目指すことができると考えています(図1、図2)。また、検診の受診率を上げることで、乳がんによる死亡数をさらに減らすことができると考えられます。実際には乳がん検診受診率は日本ではまだ低く、さらに一宮市では全国平均よりも低くなっているようです。

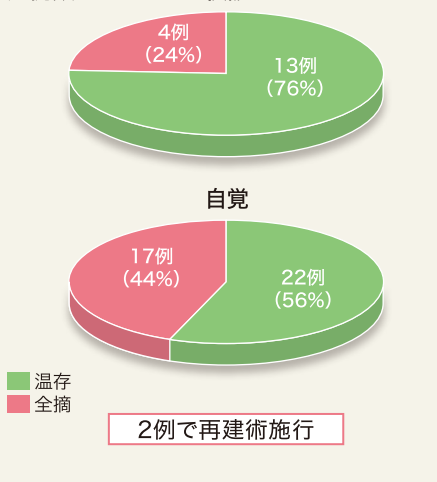
確定診断への流れと治療選択肢— 手術、再建術、放射線治療、化学療法

当院ではご紹介いただきました乳がん検診で要精密検査となった患者さまの精密検査および治療を行っています。自覚症状で直接受診された患者さまに対しても、触診、マンモグラフィ、超音波検査を実施し、**患者さまの不安を解消するためにその**

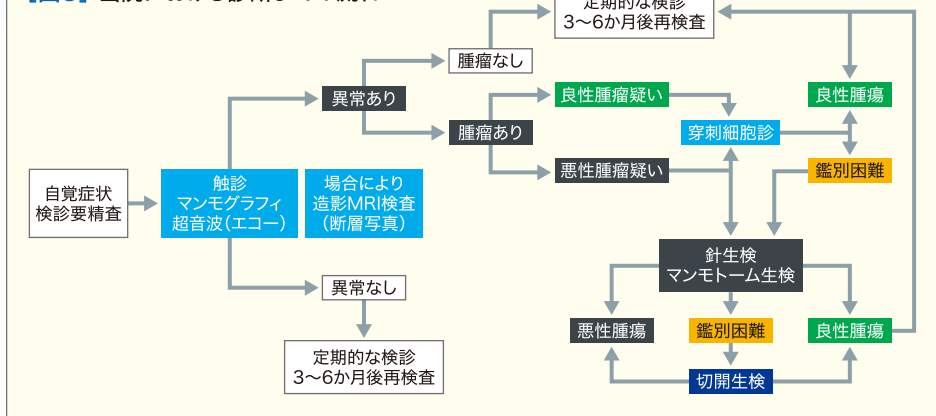
【図1】 2015年乳癌初診時主訴(当院)



【図2】 症例数



【図3】 当院における診断までの流れ



日のうちに結果説明をさせていただいています。

精密検査としては造影MRI検査、細胞診、マンモトーム生検を必要に応じて実施して確定診断を得るようにしています(図3)。乳がんと診断された場合はPET-CTも用いて遠隔転移の有無を調べるようにしており、これまでにPET-CTによって術前に重複がんが発見され、乳がんと同時に重複がんの根治術が施行された例もあります。

当院での治療選択肢は、手術であれば乳房温存術または乳房全摘術およびセンチネルリンパ節生検術を行い、常勤病理医により術中迅速診断が行われて転移陽性の場合は腋窩郭清術を行っています。また、形成外科医による自家組織での再建術も行っています。乳がん手術症例数はここ数年では年間50~60例です。

乳房温存術後の放射線治療や全摘術後のハイリスクグループに対しては胸壁、鎖上の照射を行っています。化学療法は原則として大雄会クリニックにある、外来化学療法室で行っています。レジメンによっては入院での化学療法も行っています。

チーム医療、遺伝相談ほか 連携による治療選択

乳がんの初診時から入院、手術、化学療法、ホルモン療法と診断、治療の一連の流れのなかで、がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師からも初診時から関わり、情報を共有し、よりよい治療を目指すためにチーム医療を行っています。遺伝性乳がんについては遺伝相談室を設けており、認定遺伝カウンセラーが対応を行っています。定期的に遺伝性疾患運用委員会を開催し、臨床遺伝専門医の指導のもと、消化器外科、産婦人科医師とともに活動を行っています。

当院は日本乳癌学会専門医制度認定施設である岐阜大学腫瘍外科の関連施設となっており、週に一度岐阜大学から乳腺外科医を派遣していただき、紹介外来への対応、手術、化学療法の実施においてもご協力をいただいています。症例によっては岐阜大学へ紹介させていただくこともあります。乳がん治療に関わりのある生殖医療についても、岐阜大学周産期・生殖医療センターにご協力をいただいています。様々な選択肢で対応していきますので、お困りのことがありましたらいつでもご相談ください。

詳しくは、地域医療連携室までお電話ください。

tel.0586-26-2366 (直通) fax.0586-24-9999

tel.0586-72-1211(代表) ●受付時間:月~金8:30~19:00 土8:30~12:30 ※祝日、年末年始、4月3日除く